

「セックスと嘘とビデオテープ」のストーリーブーン・ソダーバーグ監督最新作

時間と場所が交錯するミステリアスで
スタイリッシュな映像世界――

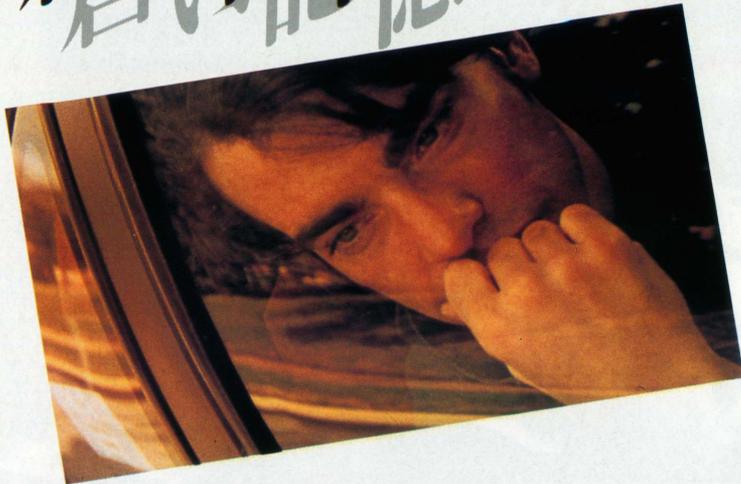


ピーター・ギャラガー
蒼い記憶

グラマシー・ピクチャーズ提供 ポピュリスト・ピクチャーズプロダクション ピーター・ギャラガー「THE UNDERNEATH」
アリソン・エリオット ウィリアム・フィクナー アダム・トレスWITHジョー・ドン・ベイカー ポール・ドゥーリー シェリー・デュバルANDエリザベス・シュー プロダクション・デザイン・ワード・カミングス
編集スタン・サルファスACE 音楽クリフ・マルチネス 撮影エリオット・デビス 原作「CRISS CROSS」 ドントレーシー 製作総指揮ジョシュア・ドーン ウィリアム・リード ライオネル・ウィグラム
脚色サム・ローリーANDダニエル・フュクス 製作ジョン・ハーディ 監督スティーブ・ソダーバーグ

©1995 UNIVERSAL CITY STUDIOS, INC. A GRAMERCY PICTURES RELEASE サウンド・トラック: SLCレコード UIP配給/ユニヴァーサル映画

蒼い記憶



深層心理、それは果てしなき迷宮・・・。

弱冠26歳で手掛けたデビュー作『セックスと嘘とビデオテープ』で、いきなりカンヌ映画祭グランプリを受賞した若き天才俳優、スティーブン・ソダーバーグ。その彼が更なる演出技法と編集、そして映像美に一段と磨きをかけ、ソダーバーグならではのビジュアル・ワールドを創り上げたのが『蒼い記憶』だ。

“ソダーバーグの最高傑作!!” “スタイリッシュなビジュアルワークと巧みな手法” “これはフィルムノワール、ミステリー、サスペンスのテイストを合わせもつ官能的映画だー。” と全米で称賛されたこの作品は、主人公マイケルの発する乾いた虚無感とそれを包み込む無機質なイメージ、あるいは「現実と虚構」また「正気と狂気」の境界線のないポダレスな世界で構築されている、奇妙な感覚に満ちた作品である。

際立ったストーリーはないと監督自らがコメントするように、『蒼い記憶』は物語を追う

ことを意識し、“頭”で見る映画でもなければ、美しい映像を堪能するがごとく“目”で観る映画でもない。心の奥底で感じ捕えなければ、大部分を見失うという新たな試みによるソダーバーグからの挑戦状なのである。

そしてそのテーマとは、彼がデビュー作からこだわり続ける“深層心理”。主人公マイケルの行動を司り、動かす力は、本人の意識でも本能でもなく“心裏”である。『蒼い記憶』では、本人も他者も知る事のない心の裏側の映像化に取り組み、非常にシンプルな構成である一方、観る者の視点によって刻々と変化していくミステリアスな作品に仕上がっている。だが、ソダーバーグの抽象的な映像のトリックは、映画の中で容易に表現されていない。他のシーンに溶け込み、散りばめられたビジュアルを見付けたのが、ソダーバーグという名の99分間のパズルを解き、核心に近づく唯一の方法なのである。



THE UNDERNEATH

監督：『セックスと嘘とビデオテープ』『カフカ/迷宮の悪夢』のスティブン・ソダーバーグ
 主演：『ザ・プレイヤー』『未来は今』『あなたが寝る間に』のピーター・ギャラガー
 『ワイアット・アープ』のアリソン・エリオット
 『コンゴ』『ゴールデンアイ』のジョー・ドン・ベーカー
 『カクテル』『あなたに恋のリフレイン』のエリザベス・シュ



次回ロードショー!!

特別鑑賞券 ¥1,500 (当日一般 ¥1,800 の処)

連日 12:30 2:35 4:40 6:45 ●毎土曜レイトショー-8:50

シネマスクエア
とうぎゅう

新宿コマ劇場向い
ミラノ座3F
03(3232)9274